

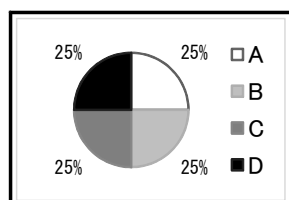
## 「学校評価アンケート」の結果について

早春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施した「学校評価アンケート」では、ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。生徒にも同様のアンケートを実施しました。各項目についての集計結果と分析を、下記にまとめさせていただきましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 【凡例】

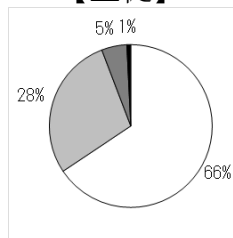
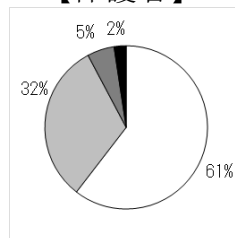


- A…当てはまる
- B…ほぼ当てはまる
- C…あまり当てはまらない
- D…当てはまらない

### 1 (お子さん・あなた)は、楽しく充実した学校生活を送っている。

【保護者】

【生徒】

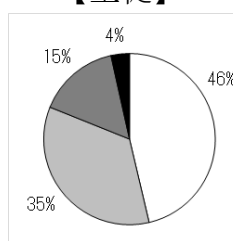
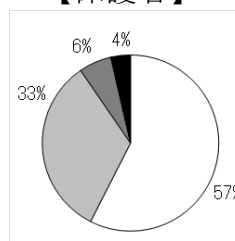


93%の保護者と94%の生徒が、楽しく充実した学校生活を送れていると回答しています。一方で、そう感じられていない生徒も6%います。学習・部活動・学校行事・学年行事など様々な場面で、より多くの生徒が充実感を味わえるよう、生徒一人一人の気持ちに寄り添い、生徒理解をより深めることで、個に応じた働き掛けをしていきたいと考えます。

### 2 (お子さん・あなた)は、学校行事に意欲的に取り組んでいる。

【保護者】

【生徒】

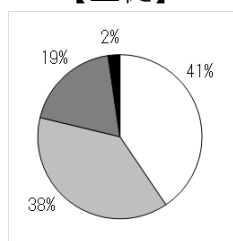
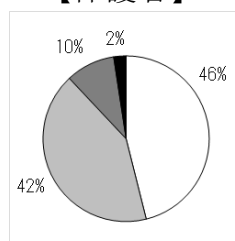


保護者の90%が取り組んでいると回答しているのに対して、生徒の19%が意欲的に取り組んでいないと回答しています。合唱コンクール後の保護者アンケートにおいても、高い評価をいただいている一方で、生徒は、当日までの練習や準備の場面では、人任せになってしまったり、消極的になってしまったり、時にはふざけてしまって協力できなかったと感じている生徒もいるようです。行事と行事のつながりを大切にして振り返り活動を充実させ、見通しをもった指導に当たりたいと考えます。

### 3 (お子さん・あなた)は、何事にも積極的に関わろうという気持ちを大切にしている。

【保護者】

【生徒】

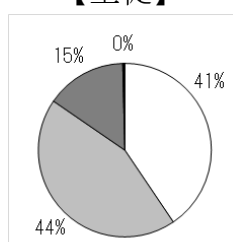
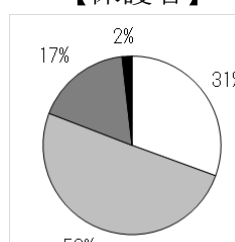


保護者の88%、生徒の79%が、何事にも積極的に関わろうという気持ちを大切にしていると回答しています。保護者に対して、生徒の方が9%も低いことから、「もっと関わりをもつことができた」と感じる生徒が多かったと考えます。日頃から、周りの人に対して優しく手を差し伸べられる生徒が多い名南中生ですが、日々の授業や特別活動、行事において、一人一人が学級や学校の一員として自覚をもって行動できるようにしていきたいと考えます。

### 4 (お子さん・あなた)は、自ら考えて行動することが以前よりも増えた。

【保護者】

【生徒】

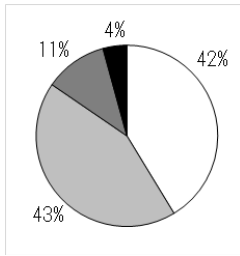
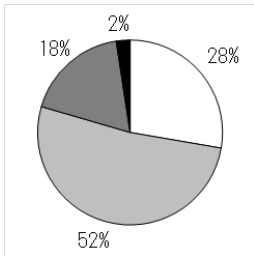


保護者の81%が、生徒は自ら考えて行動することが以前よりも増えたと回答しています。受動的に行動するのではなく、能動的に行動することで、主体的に考えることができるようになると考えます。日々の記録用ノートや進路用復習教材などを活用して、粘り強く指導している成果と考えます。一方で、15%の生徒は、自ら考えて行動することができないと回答しています。授業や行事などで、受け身の姿勢ではなく、自ら考えて進んで学習に取り組むようになるような課題や、次に何をするのかを見付ける話し合い活動を今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。

**5 (お子さん・あなた)は、やればできるという自信が以前よりも高まった。**

【保護者】

【生徒】

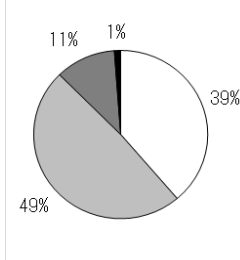
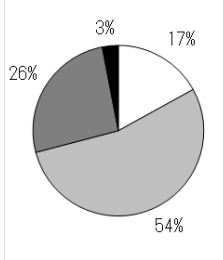


保護者の80%と生徒の85%がやればできるという自信が以前よりも高まったと回答しています。一方で、各学級で5名前後の生徒が、自信が高まっていないと回答しています。各行事での頑張りが成果に表れたり、学習に継続して取り組むことができる生徒が増えてきたりしていることを考えると、自分に厳しい評価を付けている生徒が多いようです。学校や家庭は、粘り強く課題に取り組ませたり、励ましたりするとともに、生徒同士が互いに認め合うことで、自己有用感や自己肯定感を高め、自分に自信のもてる名南中生を育成したいと考えます。

**6 (お子さん・あなた)は、様々な面において、基礎・基本が定着してきている。**

【保護者】

【生徒】

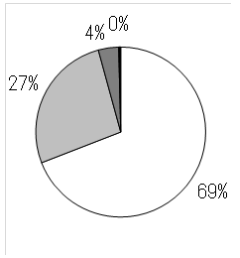
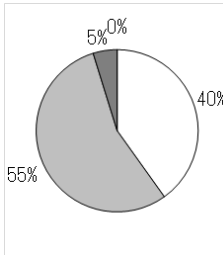


保護者の71%に対して、生徒の88%が様々な面において、基礎・基本が定着してきていると回答しています。基礎・基本の定着が実感できているものの、それが表面化できていないことが保護者とのギャップにつながっていると考えます。今後も協働学習を通して、基礎・基本の定着を目指し、定着したものが結果として表れるような取り組みを継続して行っていきたいと考えます。

**7 学校は、正しい行動を褒めたり、誤った行動を適切に指導したりしている。**

【保護者】

【生徒】

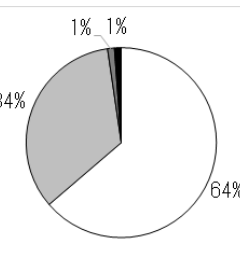
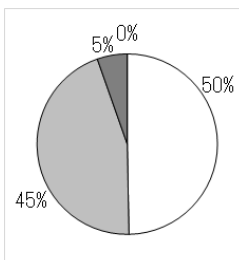


95%の保護者と96%の生徒から高評価をいただくことができ、保護者・生徒の大半が、学校は正しい行動を褒めたり、適切に指導したりしていると回答しています。学習、部活動、学校行事・学年行事など様々な場面で、温かく認めて褒め、心ない言葉や間違った行動には厳しく指導することを継続することで、生徒一人一人の更なる成長に尽力したいと考えます。

**8 学校は、相談に適切に対応している。**

【保護者】

【生徒】

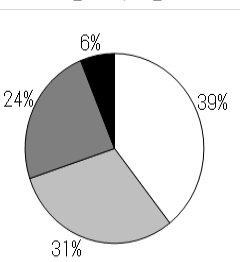
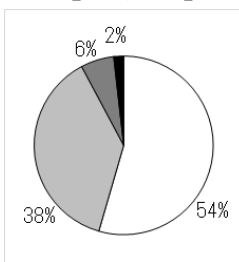


95%の保護者と98%の生徒から、高評価をいただくことができ、保護者・生徒の大半が、「対応している」と回答しています。日頃から生徒・保護者の不安や悩みをしっかりと受け止め、親身になって相談に応えられるよう、これまで以上に努力していきたいと考えます。生徒には、定期的な教育相談に限らず、気軽に声を掛けられる雰囲気作りに努めていきたいと考えます。保護者からも遠慮なく相談をしていただけるよう、個人懇談、家庭への電話連絡などの際に日頃の学校の様子などを積極的に伝えていきたいと考えます。

**9 学校は、適切に情報提供している。**

【保護者】

【生徒】



「学年通信」、「学校だより」で詳細にお知らせするよう心掛けており、92%の保護者の方から高評価をいただくことができました。今後も更なる内容の充実を図っていきたくと考えます。生徒の評価が低いのは、プリントを保護者に見せていないことへの反省の表れかもしれません。保護者の皆様に、学校における様々な情報を提供できるよう、今後も「学校だより」については、プリント配布だけでなくHPへの掲載も行い、気軽に入りやすい学校の雰囲気作りにも取り組んでいきたいと考えます。